

手取川水系流域委員会 規約

(案)

第1条（名称）

本会は、「手取川水系流域委員会」（以下「委員会」という。）と称する。

第2条（目的）

委員会は、「手取川水系河川整備計画（大臣管理区間）（以下「整備計画」という。）」策定後の、社会情勢の変化や地域の意向、河川整備の進捗状況や進捗の見通し等を適切に反映できるよう、整備計画の内容を点検した結果について意見を述べる。

- 2 委員会は、整備計画の変更が必要となった場合には、河川法第16条の2第3項及び第7項に基づき意見を述べる。
- 3 委員会は整備計画に基づく事業の計画段階評価、再評価、事後評価について審議を行う。

第3条（委員会の組織及び委員等）

委員会は、国土交通省北陸地方整備局長（以下「局長」という。）が設置する。

- 2 委員会の委員は、局長が委嘱し、別添のとおりとする。
- 3 委員の任期は1期2年以内とするが、再任することができる。
- 4 委員会には委員長を置くものとし、委員の互選によりこれを定める。
- 5 委員長は委員会を代表し、その円滑な運営と進行を統括する。
- 6 委員長に事故のあるときは、委員長が予め指名する委員がその職務を代行する。
- 7 委員会の招集は、局長より委任された金沢河川国道事務所長（以下「事務所長」という。）が行うものとする。
- 8 委員会は、委員総数の二分の一以上の出席をもって成立する。
- 9 審議にあたり、事務所長が必要と認め、委員総数の二分の一以上の同意が得られた場合は、委員以外の者に対し、参考人として出席を求めることができる。

第4条（情報公開）

委員会及び配布資料等については原則公開とし、その公開方法は委員会にて定める。

第5条（事務局）

委員会の事務局は、金沢河川国道事務所に置く。

第6条（規約の改正）

本規約の改正は、委員会の委員総数の三分の二以上の同意を得てこれを行う。

第7条（雑則）

この規約に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附則（施行期日）

本規約は、令和4年12月12日より施行する。

改正 令和 年 月 日（別添改め）

手取川水系流域委員会 委員名簿

氏名	所属・役職等	備考
いけもと 池本 良子	金沢大学 名誉教授	
おぐま 小熊 仁	高崎経済大学地域政策学部 教授	
たきもと 灌本 裕士	石川県立大学 教授	
たけだ 竹田 伸一	野鳥の会石川 顧問	
たにぐち 谷口 健司	金沢大学理工研究域地球社会基盤学系 教授	
たむら 田村 敏和	手取川水防事務組合 組合長	
つじもと 辻本 哲郎	名古屋大学 名誉教授	委員長
とみさわ 富沢 章	石川むしの会 会長	
なかむら 中村 浩二	金沢大学 名誉教授	
はった 八田 伸一	石川県内水面漁場管理委員会 会長	
ひらの 平野 優	元小松短期大学地域創造学科 教授	
ふるいけ 古池 博	石川県地域植物研究会 会長	
もとや 本屋 彌壽夫	手取川七ヶ用水土地改良区 理事長	

(50音順、敬称略)